

私が所属する知能情報工学分野の坂本研究室では、大規模データに対する圧縮や検索のための索引構築について研究しています。その中で、今回は台湾の新竹市で四月に開催されたAAAC2011での発表内容について紹介します。テーマは「冗長度の高いテキストに対する省メモリなオンライン圧縮アルゴリズム（和訳）」です。冗長度の高いテキストとは、Wikipediaやインターネット・アーカイブ等の履歴情報が保存されているテキストや、生物学や遺伝子工学で使用される塩基配列

などの、共通部分を多く含むテキストデータのことです。このようなテキストに対する新しい圧縮アルゴリズムを提案し、有用性を示しました。従来のアルゴリズムでは、オフライン処理と言ってテキストを主記憶上に読み込んでおく必要があります。これをオンライン処理に改良することで、メモリ消費量を少なく、かつストリームのように順次データが与えられるような入力処理にも対応できるようにになりました。

AAACはアルゴリズムに関するアジアを中心とした国際学会です。今回の新竹市で開催された学会では半数以上が私と同じように日本から来た方々でした。しかし、学会中はどこから来たのか関係がなく、全てのコミュニケーションは英語だったので、受け付け時等で難儀しました。実際の私の発表では、指導教員の



懇親会にて

発表内容



学会について
AAACはアルゴリズムに関するアジアを中心とした国際学会です。今回の新竹市で開催された学会では半数以上が私と同じように日本から来た方々でした。しかし、学会中はどこから来たのか関係がなく、全てのコミュニケーションは英語だったので、受け付け時等で難儀しました。実際の私の発表では、指導教員の

アルゴリズムに関する国際学会での発表

情報工学府情報科学専攻M2 中原 昌哉



発表の様子

英語で会話できるように努力したいと思いました。
懇親会では、東北大学からいらっしやった先生が、東日本大震災についての被害や現状などを発表しておられました。震災後一ヶ月という先生方にとっても非常に大変な時期だろうと思いましたが、現地の正確な情報や、各国からの支援への謝意等を述べておられて、非常に感動して印象に残りました。

最後に、奨学金の援助をして頂いた明専会、ご指導頂いた坂本比呂志准教授に厚くお礼申し上げます。